

【公募情報】平成 28 年度 日本医療研究開発機構（AMED）「新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業」公募について

平成 27 年 11 月 18 日

信濃町地区研究者各位

信濃町キャンパス 学術研究支援課

11 月 13 日付で平成 28 年度「新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業」について新規課題が公募されました。

ご応募を検討されている研究者におかれましては下記照会先までご一報くださいますようお願いいたします。

(1)応募意思の申し出締切：【平成 27 年 12 月 1 日（火）】

(2)応募書類一式提出締切：【平成 27 年 12 月 4 日（金）】

【注意点】

- ・ 本学で応募が可能な方は、本学と雇用関係のある”常勤”の研究者となります。
- ・ 機関を対象としての公募であり、申請は代表機関の長が行うこととなります。
- ・ 提案書の提出方法：【e-rad および郵送】

新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業

<http://www.amed.go.jp/koubo/010620151113-01.html>[外部ページ]

—公募概要—

新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業

【応募受付期間】平成 27 年 11 月 13 日～平成 27 年 12 月 15 日（火）正午

※郵便物については当日消印有効

【研究実施予定期間】最長 3 年間（平成 28～30 年度）

【研究費の規模】各研究開発課題参照

【採択課題予定数】各研究開発課題参照（合計 27～28 課題）

【研究開発課題（21 課題）】（目標、求められる成果については、公募要領 p60-p68 参照）

1. 一類感染症等の新興・再興感染症の診断・治療・予防法の研究

[研究費の規模：2000 万円/年（間接経費を含む），採択課題数：1 課題程度]

2. 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に対する診断・治療・予防法の開発及びヒトへの感染リスクの解明等に関する研究

[研究費の規模：4000 万円/年（間接経費を含む），採択課題数：1～2 課題程度]

3. 高病原性鳥インフルエンザ感染症の臨床病理学的解析に基づく診断・治療に関する国際連携研究

[研究費の規模：1500 万円～2000 万円/年（間接経費を含む），採択課題数：1 課題程度]

4. 新興・再興エンテロウイルス感染症の検査・診断・治療・予防法の開発に向けた研究

[研究費の規模：3000 万円/年（間接経費を含む），採択課題数：1 課題程度]

5. 結核菌初回感染・再燃発症を標的とした予防法及び多剤耐性結核菌に有効な治療薬の開発に向けた研究

[研究費の規模：1500 万円～2000 万円/年（間接経費を含む），採択課題数：1 課題程度]

6. 新規結核ワクチンの開発に向けた研究

[研究費の規模：4000 万円/年（間接経費を含む），採択課題数：2 課題程度]

7. 真菌感染症の病態解明及び検査・診断・治療法の確立に関する研究

[研究費の規模：1000 万円/年（間接経費を含む），採択課題数：1 課題程度]

8. わが国における熱帯病・寄生虫病の最適な診断・治療体制の構築に関する研究

[研究費の規模：2000 万円/年（間接経費を含む），採択課題数：1 課題程度]

9. トキソプラズマの分子疫学調査と新規診断法の開発に向けた研究

[研究費の規模：1000 万円/年（間接経費を含む），採択課題数：1 課題程度]

10. 新規インフルエンザワクチンの品質管理試験法の開発及び有効性の検証方法の確立のための研究

[研究費の規模：1500 万円～2000 万円/年（間接経費を含む），採択課題数：1 課題程度]

11. 粘膜免疫誘導型インフルエンザワクチンの開発に向けた研究

[研究費の規模：3000 万円/年（間接経費を含む），採択課題数：2 課題程度]

12. 麻しん、風しん等のワクチンで予防可能な感染症の排除・制圧に向けた先進的検査診断法開発及び国内ネットワーク構築に資する研究

[研究費の規模：1500 万円～2000 万円/年（間接経費を含む），採択課題数：1 課題程度]

13. ムンプスワクチンの有効性・安全性の評価法確立及び新規ムンプスワクチン開発に向けた研究

[研究費の規模：2000万円/年（間接経費を含む），採択課題数：1 課題程度]

14. 小児において疾病負荷が高い疾患を対象とした新規ワクチンの開発に向けた研究

[研究費の規模：2000万円/年（間接経費を含む），採択課題数：1 課題程度]

15. ワクチンの実地使用下における有効性・安全性及びその投与方法に関する基礎的・臨床的研究

[研究費の規模：1000万円/年（間接経費を含む），採択課題数：1 課題程度]

16. 抗毒素の品質管理及び抗毒素を使用した治療法に関する研究

[研究費の規模：500万円/年（間接経費を含む），採択課題数：1 課題程度]

17. 動物由来感染症の制御に資する検査・診断・予防法及びサーベイランスの強化と事前対応に関する研究

[研究費の規模：2000万円/年（間接経費を含む），採択課題数：1 課題程度]

18. 培養細胞感染系が確立されていない病原体の新たな感染複製系等の開発とそれを用いた診断・治療

[研究費の規模：2000万円/年（間接経費を含む），採択課題数：1 課題程度]

19. 迅速・網羅的病原体ゲノム解析法の開発及び感染症危機管理体制の構築に資する研究

[研究費の規模：1億円/年（間接経費を含む），採択課題数：1 課題程度]

20. 多剤耐性菌に有効な新規抗菌薬開発に向けた研究

[研究費の規模：1000万円/年（間接経費を含む），採択課題数：2 課題程度]

21. 新興・再興感染症対策の強化に必要な基盤技術の創出、診断・治療・予防法の開発に向けた研究

[研究費の規模：1000万円/年（間接経費を含む），採択課題数：4 課題程度]

#### 【若手研究者の登用推進】

・若手研究者（条件は公募要領 p14 参照）の登用を支援する。

・若手研究者の登用を希望する際は、研究開発提案書（様式1）「18. 研究者育成について」にその旨を明示し、指定の履歴書（別添様式1）及び若手研究者育成計画書（別添様式2）を提出。

・平成28年度の若手研究者登用は、1採択課題あたり1名程度、本事業合計5名程度

・若手研究者の登用に要する経費は年間600万円（間接経費を含む。）を上限として、基本経

費と合算して支給。

担当（照会先）：信濃町キャンパス 学術研究支援課 AMED 担当  
メール：amed-shinano@adst.keio.ac.jp